

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス こすもす			
○保護者評価実施期間	2025年1 月 6日 ～ 2025年1 月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日 ～ 2025年 1月31 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月6 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子供たちが自由に好きな遊びが出来ており、遊びを通して人との関わり方の支援が出来ている。 ・保護者からお子様の事で何か相談事があった際にはしっかりと時間をつくって、相談が出来ている。	・子供たちの今の状態をしっかり観察し、支援内容についてしっかりと職員間で話し合いをするようにしております。送迎時に保護者の方としっかりと子供について引き継ぎをし信頼関係を築けるようにしております。	子供たちの5年後、10年後を見据えた支援を考え、より児童発達支援管理責任者の指導の元、よりよい支援が出来るように、日々職員間で話し合いを進めています。
2	・子供たちが安心感を感じながら、楽しく通所が出来ている。 ・保護者の信頼度・満足度が高い。	・子供たちがやりたい事を第一優先で考え、チームとして安定した支援が出来るようにしています。 ・保護者の方が参加出来るイベントを計画したり、年1回親睦会を計画して交流を深めています。	・さらに子供たちがやりたい事や行きたいイベントを計画していきます。 ・保護者の方が参加できるイベントや親睦会を増やしていきます。
3	・連絡帳アプリで日々の様子を文章と共に写真で送っている。	・文章では伝わりにくい所も写真でより表情も分かりやすくなるようにしている。	・希望があれば静止画の写真だけではなく動画も送るようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・避難訓練等を行っているが、保護者の方へ情報が伝わりにくい状況となっている。	・保護者の方に伝わっていると思い込んでいた可能性がある。	・ブログや連絡帳でしっかり伝え、情報発信をしていく。
2	・バリアフリーが難しい状況となっている。	・平屋でスペースは広いが、段差もありトイレも狭い為、トイレ介助がしにく。	・段差で転んで怪我をしないように職員の配置を考えて対応する。 ・トイレ介助で状況に応じてはパーテーションを使用して広いスペースで対応していく。
3	・換気がしにくい状況の為、感染症が広まりやすくなっている。	・窓が少なく換気がしづらい。	・空気清浄機を24時間稼働し、二酸化炭素濃度を計る測定器も常に設置していく。 ・子供たちが外に出ないよう職員の配置を考え、時間を決め玄関を開けて換気をする。 ・しっかりと消毒、手洗いの徹底をしていく。